

ITS 関連システムの実現に係る要求条件の取りまとめについて（案）

I 無線システムの具体化

提案システム（アプリケーション）について、それを実現する具体的な無線システムを明確にする。

II 無線システムの分類

I で検討した無線システムについて、①既存の無線システムの発展系、②ITS 専用に新たに開発する無線システムに分類し、それぞれについて無線システムを実現するための要求条件について検討を行う。

1 既存の無線システムの発展系

現在実用化されている無線通信システムの高度化等により、実現可能なアプリケーションについて検討する。

【具体例】

- ・自律型システム → 車載レーダー（60/70GHz 帯）
- ・インフラ協調型システム（路・車間／車・車間通信）→ DSRC（5.8GHz）
- ・シームレス通信 → [携帯電話、無線 LAN、地デジ放送]

これらのシステムについては、アプリケーションの実現可能性／普及予測等を踏まえ、必要な周波数を検討する。

2 ITS 専用に新たに開発する無線システム

上記 1 の無線システムだけでは実現できないアプリケーションについて検討。

【具体例】

- ・インフラ協調型システム（路・車間／車・車間通信）
- ・インフラ協調型システム（シームレス通信）

これらのシステムについては、アプリケーションの実現可能性／普及予測等を踏まえ、新規割当ての必要性について検討する。

III 各システムの要求条件の検討

1 既存の無線システムの発展系

各システム（アプリケーション）の要求条件（情報伝送量、使用条件等）を具体化し、その実現に必要な無線システムの要求条件（使用周波数帯、必要周波数帯幅等）を検討する。

- (1) 自律型システム
 - ・ 所要分解能
 - ・ 最大検出距離 等

- (2) インフラ協調型システム（路・車間／車・車間通信）

路・車間／車・車間通信で提供されるサービス（①信号情報、②死角画像情報、③接近車両情報、④道路規制情報、⑤停止・低速車両情報、⑥横断歩行者・地物等情報、⑦前方動画情報、⑧緊急車両優先通行システム）に関して、以下の項目について検討する。

 - ・ 所要伝送速度
 - ・ 所要周波数帯幅（所要チャンネル数）
 - ・ 複数の ITS サービスとの周波数共用の可否 等

- (3) シームレス通信システム
 - ・ 所要伝送速度
 - ・ 複数メディアの連携 等

2 ITS 専用に新たに開発する無線システム

- (1) インフラ協調型システム（路・車間／車・車間通信）

上記 1 の(2)に加えて、

 - ・ 使用周波数帯

- (2) シームレス通信
 - ・ 所要伝送速度
 - ・ 複数メディアの連携 等

以上